

始めようSDGs ～取り組むべき課題～②

2023年がはじまりいろいろと情勢が安定しないこの頃ですが皆様いかがお過ごしでしょうか?私ごとですがまた新しいプロジェクトが少しずつ形になってきており毎日バタバタとさせていただいております。どんなときでも「楽しむこと」を忘れずに頑張っていきましょうね。さてさて、SDGsコラムも残すところあと2つとなりました。前回に引き続き「始めようSDGs～取り組むべき課題～」についてお話ししたいと思います。②のテーマは「個人の持続性」について。できるだけわかりやすく楽しめるようにまとめましたので最後までご覧くださいね。



一般社団法人SDGs design代表理事
SDGsビジネスコンサルタント
(株)武田工業所 取締役
曾根香奈子 氏

それは「IKIGAI」と言う概念。

じつは日本語が元になって世界中で流行した言葉があります。

IKIGAI

たくさんの選択肢がある中で私たちは「正しい選択」をしていく必要があります。

社会情勢や感染症など、日本を取り巻く環境は決して安定しているとは言えません。

この「世界が求めていること」というのが実は「SDGs」のことなんです。SDGsの目標である2030年の先に、自分たちが持続していく「IKIGAI」のある未来像があるんです。

① 好きなこと
② 得意なこと
③ 世界から求められていること
④ 稼げること

SDGs

IKIGAIとはこの4項目が重なり合った状態です。このどれか1つでもかけてしまうと「持続可能である」とは言えないのです。

自分自身が持続可能になれる「思考の仕組み」を作ることができれば、

周りの人々を助けに行くこともでき、「持続可能な連鎖」がおきていきます。

足りてないもの

すると、不要なことから脱出した先に「いま足りてないもの」も見えてきます。

不要なこと

必要なこと

不要なこと

まずは自分自身が持続可能か?を考えてみましょう。その上で、必要なことと不要なことを整理することが大切です。

曾根さんの今月の一言。

「持続」できる仕組みを作ろう

慈善活動やボランティア、心意気だけでは、せっかくの良い取り組みも息切れしちゃって持続できなくなってしまいます。自分自身の持続可能性も大切。SDGsと向き合って新しい仕組みをつくっていきましょうね。

